

たねやま種雄牛だより

Since2004.4

岩手県農業研究センター畜産研究所種山畜産研究室 TEL: 0197-38-2312 FAX: 0197-38-2177

令和2年度直接検定第6期が始まりました！

2月23日より直接検定6期がスタートしました。これから112日間にわたり育成する過程で本牛の発育や飼養効率等を検定していきます。

今期の候補牛2頭は、産肉能力の“ゲノム育種価”が高い基礎雌牛から生産された産子です。どちらも肉質に優れる「美津照重」と「安福久」で増体系をサンドした血統構成となっています。今後の成績にも御期待ください！

R2-07 ^{たか} ^{てる} **隆 照** R2.7.22 生 産 地：一関市花泉町



美津照重-隆之国-安福久

令和2年度に基礎雌牛に認定された母「はなこのこ」はゲノム育種価評価において、ロース芯面積、歩留、脂肪交雑がH評価と高く、中でも脂肪交雑は2σを超える能力の持ち主です。

その母に「美津照重」を交配し生産された本牛は、両親譲りの脂肪交雑能力に期待の持てる1頭です。

R2-08 ^{しげ} ^{ざくら} **重 桜** R2.6.18 生 産 地：九戸村



美津照重-勝早桜5-安福久

令和2年度に基礎雌牛に認定された母「さきこ」はゲノム育種価評価において、ロース芯面積、歩留、脂肪交雑がH評価と高く、中でもロース芯面積と脂肪交雑は2σを超える能力の持ち主です。

その母に「美津照重」を交配し生産された本牛は、両親譲りの肉質に富んだ種雄牛候補として期待の持てる1頭です。

産肉能力 ゲノム育種価の活用

「ゲノム育種価」という言葉を耳にする機会が増えてきたと思います。実用化が進み、県でも「ゲノム育種価」を活用した種雄牛造成に取り組んでおります。「隆照」と「重桜」の2頭はその取組みにより選抜された直接検定候補牛です！

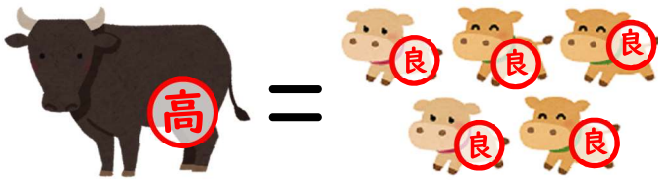
「ゲノム育種価」の簡単な説明と県の取組みについて、ご紹介します。

「ゲノム育種価」とは？

従来使われてきた推定育種価と比較して説明します。

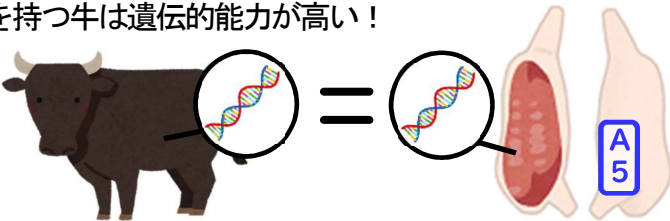
推定育種価 ⇒ 産子の肥育成績と血統等から算出

《考え方》 成績が良い子牛をたくさん生産している牛は遺伝的能力が高い！



ゲノム育種価 ⇒ 本牛のDNA情報から算出

《考え方》 枝肉成績が良い肥育牛と同じDNA情報を持つ牛は遺伝的能力が高い！



**推定育種価は算出に時間がかかるが
ゲノム育種価は産後すぐに算出可能！！**

**現在、ゲノム育種価の正確度を向上させるため
DNA情報の収集に努めています！**

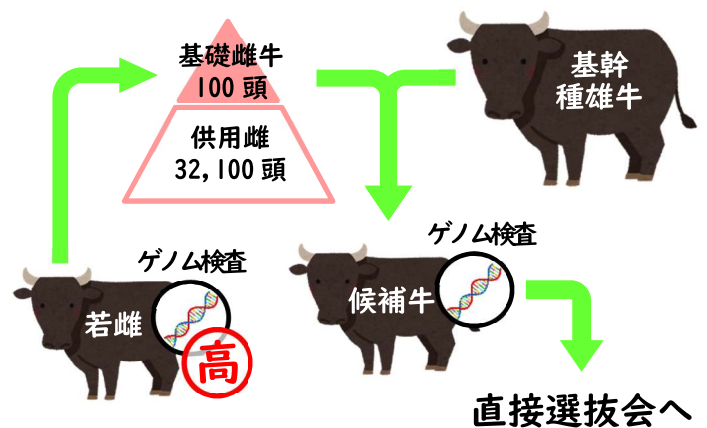
ゲノム育種価の種雄牛造成への活用

平成30年度から、登録審査の際に若雌牛から毛根を採材し、ゲノム育種価を算出しています。

令和元年度以降、ゲノム育種価の高い雌牛を基礎雌牛とし、種雄牛造成の基盤としているところです。生産された直接検定候補牛は事前の産子調査でゲノム育種価を算出しています！

選抜会では関係機関と共にゲノム育種価や体型を考慮しながら選抜の可否を協議しています。

ゲノム育種価により選ばれた種雄牛候補の活躍に今後ご期待ください！



来年度直接検定について

来年度の日程については下記の表の通りです。毎年度、種雄牛候補牛作出に御協力いただきありがとうございます。来年度も御協力よろしくお願いたします！

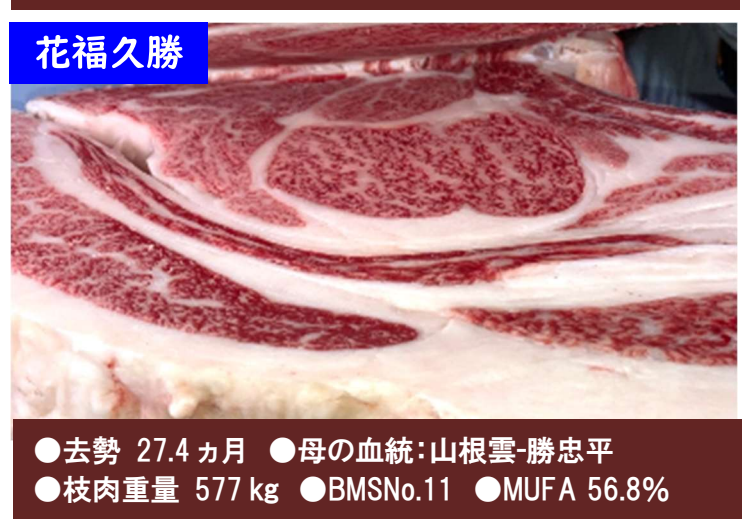
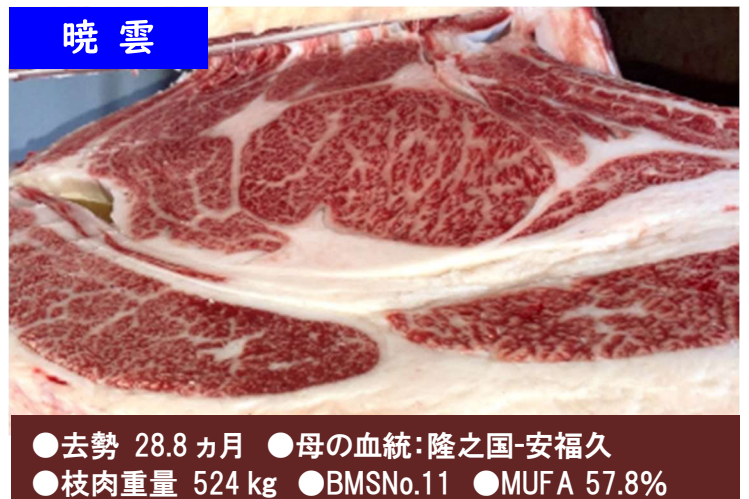
期	検定牛生年月日		選抜会日	搬入日	予備開始日	検定実施予定日	
	自	至				開始日	終了日
1	R02.08.11	～ R02.10.09	R3.3 上旬	R03.04.06	R03.04.07	R03.04.27	～ R03.08.17
2	R02.10.13	～ R02.12.11	R3.5 上旬	R03.06.08	R03.06.09	R03.06.29	～ R03.10.19
3	R02.12.08	～ R03.02.05	R3.7 上旬	R03.08.03	R03.08.04	R03.08.24	～ R03.12.14
4	R03.02.09	～ R03.04.09	R3.9 上旬	R03.10.05	R03.10.06	R03.10.26	～ R04.02.15
5	R03.04.06	～ R03.06.04	R3.11 上旬	R03.11.30	R03.12.01	R03.12.21	～ R04.04.12
6	R03.06.08	～ R03.08.06	R4.1 上旬	R04.02.01	R04.02.02	R04.02.22	～ R04.06.14

令和元年度現場後代検定の速報第2弾！

先月号に引き続き現場後代検定成績の速報値をお知らせいたします。岩手県出荷平均より優れる項目を濃く色付けし示しております。

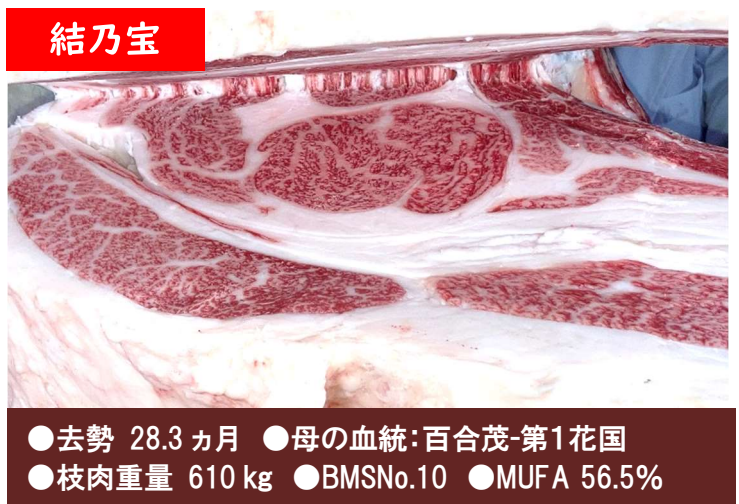
	性別	頭数	月齢	枝肉重量 (kg)	ロース芯 面積 (cm ²)	バラの厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	歩留 基準値	BMS No.	上物率 (%)	A5 率 (%)
暁雲	去	7	29.4	540.7	64.7	8.4	2.5	74.4	8.3	95.0	45.0
	雌	13	29.6	480.4	61.4	7.9	3.2	73.8	6.6		
花福久勝	去	7	27.5	490.6	64.6	8.4	2.5	75.0	8.6	100.0	66.7
	雌	11	29.7	472.5	67.6	8.6	3.0	75.2	8.6		
百合雲	去	14	28.4	509.7	64.8	8.1	2.8	74.4	8.6	94.4	66.7
	雌	4	29.8	514.5	58.5	8.1	3.9	72.6	7.5		
結乃宝	去	8	28.2	514.5	70.0	8.3	2.3	75.6	8.6	85.7	57.1
	雌	6	29.9	436.7	60.7	7.3	3.0	74.0	6.8		

調査牛は残すところ、「百合雲」雌2頭、「結乃宝」雌3頭の計5頭となりました。過去最高を記録した「安久勝晃」を上回る成績が続々出ております。4月号にて新規種雄牛に選ばれた候補牛を紹介いたします。お楽しみに！





●去勢 27.8 ヲ月 ●母の血統:菊福秀-美津福 ●枝肉重量 486 kg ●BMSNo.12 ●MUFA 62.7%



●去勢 29.0 ヲ月 ●母の血統:美国桜-勝忠平 ●枝肉重量 520 kg ●BMSNo.12 ●MUFA 51.6%